



こみなみひろし
小南 宏
名古屋営業所、豊田営業所 所長（兼務）

1993年（平成5年）9月、南星キャリアックス株式会社に中途入社し、現在は豊田営業所と名古屋営業所の所長を兼務する小南宏さん。仕事をするうえで心がけていることや、今後の目標などをうかがいました。

——入社してから現在の職務に至るまでの経緯を教えてください。

豊田営業所で11年間運転手を務めたあと、管理者として主に事務所での勤務に移りました。当時は管理業務と並行しながら、走行も行ってましたね。その後、所長になったのですが、初年度は、運転手時代からお客さんとの繋がりを大事にしていたので、仕事の依頼を絶対に断らない姿勢で臨みましたね。また、それにしっかりと仲間が着いて来てくれた事で、今の豊田営業所の成績、基盤が出来たと思います。自分が汗水たらした訳ではなく、仲間が一生懸命、汗をかき、頑張った。もう、みんなには感謝しかないです。

拠点の規模としても、6年の間に運転手が30人から60人に、トラックも30台から60台に増え、着実に拡大しています。自分がこの立ち位置にいるのも、直属の部下も含めて全員の力があるからです。

そして2019年からは、豊田営業所と同様に自動車部品の運送をメインに手掛ける名古屋営業所の所長も兼務することになりました。現在はそれぞれの営業所に半々ずつの割合で出勤していますが、名古屋営業所では、皆に教えてもらう事が多々あり、所長なんて立場で今はものを言えませんが、豊田に負けない団結力を持つており、素晴らしいメンバーが揃っていると思っています。

——仕事をするうえで大切にしていることは何でしょうか。

お客さんのニーズに応えることです。どんな場合でも一旦受け入れて断らない。自分たちが運べなかつたらお客さんが困るでしょう。大手と違って顧客との距離

離感も近いから、「何とかしてよ」と言われたら、断れない。希望にしっかりと応えれば、嬉しい言葉をかけてくれますしね。顧客満足のためには運転手を増やしていくことも必要。これらを繰り返していくけば、徐々に新しい仲間が増え、会社も一回り大きくなっていくでしょう。

——組織の中で仕事をする際に、最もこだわったことはありますか。

リーダーの教育には特に力を入れました。ベテランといわれる人たちがリーダーの意識を持ってみんなの手本となる姿を見れば、自然に新人たちも取るべき行動が身についていくだろうと確信がありました。

豊田営業所の6人のリーダーを集めて、いろいろな話をしましたね。夢を語ることから、「こんなふうにはしないとイケないよね」という話まで、とにかく何度も口に出して言い続けたのです。そんな自分の思いに、だんだん

みんなも共感してくれるようになった。次第に、リーダーたちが率先して的確な動きをしてくれるようになりました。そんな先輩たちの背中を見て後輩たちも続く、理想的な構図ができあがりましたね。

決して自分が采配を振つてみんなを動かしたわけではないのです。一人ひとりを信頼して仕事を任せただけではないかと。きつと辛いこともあったと思いますが、ついてきてくれたみんなにはとても感謝しています。

——これまで会社を辞めたいと思ったことはありますか。

運転手だった時は事故を起こしたこともあるし、仕事上悔しい思いをしたこともありましたが、辞めたいと思ったことは一度もありません。それは、一緒に働いていた先輩方と良い関係を保てたことが大きいですね。

みなさんもう退職されていますし、話す機会がそれほど多かつたわけではないけど、新人時代に

は本当に親切にしてもらいました。だから、会社も心地よくてね。いずれ自分も、後輩が入ったら同じように接していきたいと思っていました。それでも、営業所の人数が倍以上にも増えると、お互い顔と名前が一致しないような状況も出てきます。班が違えばほとんど顔を合わせることもないし、どうしても関係が希薄になりがちですが、昔はよかったという経験があるから、「できるだけこちらから後輩に声をかけていこうよ」と言っていますね。

——これからの目標を聞かせてください。

運転手さんたちが、南星キャリアックスにいてよかったと実感できるように将来に不安のない会社にしていきたいと思っています。それから、教育の場を作れたらいいなど。常に3年先や5年先、あるいは10年、20年先をイメージして、「こんなことができたら」とよく話をしています。夢を描くことで、必然的にそっちに向かって

いくと信じていますから。

みんなの望みが実現するように、ずっと期待を背負ってきた小南さん。引き続き一つひとつ叶えられるよう尽力したいと熱い思いを語ってくれました。名古屋営業所でも、きつと新たな風をもたらしてくれるでしょう。小南さんが作り上げていく、新たな会社の姿に期待が高まります。

